

〈編集後記〉

「相愛国文」第八号をお届けする。本号は、短大にご出講をお願いしている非常勤の先生をはじめ、相愛大学人文学部日本文化学科の先生方からも原稿を戴いた。とりわけ、かつて短期大学において教鞭をとられ、さらには人文学部開設とともに、日本文化学科の中心メンバーとして本学の発展に尽くされ、本年をもって退任される藤木英雄先生より原稿を頂けたことは、喜びに堪えない。これまでのご指導に感謝申し上げまするとともに、ますますのご健勝をお祈りする。

今号の編集をしているさなかに、大江健三郎氏のノーベル賞受賞の報に接した。社会に語りかける、その言葉の重さを、いまさらながらに感じている。

我々の責任も軽くはない。日本文学の価値を伝達して行く研究誌として、「相愛国文」のさらなる充実を図ってゆきたいと思っている。

〈H〉

〈執筆者一覧〉

蔭木 英雄 相愛大学人文学部教授  
山本 和明 本学国文学科専任講師  
森崎 光子 本学国文学科非常勤講師  
北野 裕通 相愛大学人文学部教授  
鳥井 正晴 本学国文学科教授  
北谷 幸册 本学国文学科教授  
橋本 雅之 本学国文学科助教授

相愛国文 第八号

平成七年三月二五日 印刷

平成七年三月三十日 発行

編集・発行 相愛女子短期大学国文学研究室

〒559 大阪市住之江区南港中四丁目一

Tel 〇六一六一二一五九〇〇(代)

印刷所 和泉書院

〒543 大阪市天王寺区上汐五丁目三十八

Tel 〇六一七七一一四六七